

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 教師者の招集について

- (1) 競技者招集場所 競技開始場所（現地集合）
(2) 招集時刻

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 15分前	競技開始 5分前
フィールド競技	競技開始 30分前	競技開始20分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は招集開始時刻までに招集場所に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下）・靴底の厚さ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受ける。
トラック競技の出場者は、アスリートビブス（腰）を受け取り、各自で右腰に貼り付ける。
- ② 2種目（個人とリレー）に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、本人があらかじめ、出発係（トラック競技）とフィールド審判員に、競技が重なっている旨を申し出ること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
また、棄権する者は、本人または同チームの選手が、出発係（トラック競技）・フィールド審判員にその旨を申し出ること。
- ④ トラック競技では密にならないよう、競技の間隔をゆったりとった日程になっています。招集場所が密にならないよう、招集開始時刻の5分前を目途に集まるようにして下さい。

3. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) トラック競技は、100m、200m、100mH、110mHは予選と決勝を行う。
その他の種目は、タイムレース決勝で順位を決定する。
- (3) スタートにおける不適切行為は、TR16.5.2を適用せず、注意にとどめる。
*小学生では、2回目の不正出発で失格とする。
- (4) トラック競技の計時は、写真判定（1/100秒）とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。
- (5) 本大会は全てタイムレース決勝とする。
- (6) リレー競技のマーカ―は1カ所とし、出場チームにて用意すること。
- (7) リレーチームの編成メンバーは、リレー又はほかの種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。
ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んでいる競技者であること（TR24.10）。
- (8) リレーチームの編成（オーダー用紙）は、招集完了時刻1時間前までに記録室に提出する（TR24.11）。
- (9) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (10) 助走路が使われるフィールド競技のマーカ―は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されていない場合は、粘着テープを使用してもよい（TR25.3.1）。
- (11) サークルから行うフィールド競技絵は、マーカ―を1個だけ使用することができる（TR25.3.2）。
- (12) スタートについては、「イングリッシュコマンド」とし、1回目に不正スタートをした者を失格とする。
- (13) トラック種目でゴールした選手がスタート地点へ戻る際には、メインスタンド下雨天練習場、もしくは、芝生スタンド側を通りもどること。本部関前・本部席後ろの通路の通行は禁止します。

4. WA競技規則143条（TR5-2：シューズ）について

- (1) 競技用シューズについては、競技規則TR5.2, TR5.5, TR5.13.3に適合しないシューズの使用は、認めない。ただし、小学生はこの規則を適用しない。
- (2) トラック競技においては、中学生以上は、すべての靴底厚の測定を行い、規定外の厚さは使用不可。
- (3) フィールド競技においては、中学生以上は、すべての靴底暑の測定を行い、規定外の厚さは使用不可。ただし、中学生、高校生はTR5.5適用除外措置にて実施する。対応方法は、中学生は兵庫県中体連、高校生は兵庫県高体連で決められた通りとする。
- (4) 招集場所での測定時間を短縮するため、開門後から本部席近くにおいて、「TR5検定」を行う。規定厚のシューズには、以下のシールタグを渡すのでシューズの紐に取り付ける。
 - 20mm以下のシューズ⇒ 「検定済み20mm（白色） 全ての使用できる。
 - 21mm～25mmのシューズ= 「検定済み25mm（緑色） 長距離・三段跳で使用できる。
 シールタグは、今大会と夏季記録会用として、シールのついているシューズは、招集場での測定は行わない。
- (5) カスタマイズされているシューズの使用はできない。
 - ×中敷きを外しているシューズ
 - ×中敷きを既製品から交換しているシューズ

5. アスリートビブス（※ナンバーカード）

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。跳躍競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載の物と同じでなければならない(TR5.7)。ビブスは各自で用意すること。
*小学生は、兵庫陸協の学校（チーム）登録番号を使用する。
- (2) トラック競技出場者は、アスリートビブス（腰）を招集時に受け取り、各自でランニングパンツの右側上部やや後方につける。シールタイプのもので、剥離紙は各自持ち帰ること。

6. 走高跳におけるバーのあげ方について

- (1) 最後の一人になり、優勝が決まるまで、以下のバーのあげ方とする。
- (2) 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、2cmとする（TR26.9.4）。

		練習	バーのあげ方	
男子	一般高校	1m30	1m35	1m80 まで 5cmずつ 以降3cmずつ
	中学	1m40	1m45	1m70 まで 5cmずつ 以降3cmずつ
女子	一般高校	1m30	1m35	1m50 まで 5cmずつ 以降3cmずつ
	中学	1m10	1m15	1m45 まで 5cmずつ 以降3cmずつ

7. フィールド種目における試技について

- (1) 走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投においては、予選2回の試技を行い、その後上位8名により決勝2回の試技を行う。順位は全4回の試技より順位を決定する。
- (2) 走高跳においては、各ラウンド2回までの試技が認められ、成功した場合は次ラウンドにおいて同様に2回の試技を行う。
- (3) 計測ラインは設けない。明らかに失敗試技の場合はショートとして計測しない。

8. 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) やり投げについては、競技前に検定を行い、認められたやりのみ個人の物の使用を認める。
【やり検定】 13:00 用器具庫（南）前
- (3) 練習用の器具、用具を競技場所へ持ち込むことはできない。

9. 表彰について

選手権種目 1位～3位の選手に表彰状を授与する。

各校顧問は、大会終了後に本部・表彰係まで受け取りに行くこと。

*小学生、一般の選手は、結果発表のアナウンス後に、本部・表彰係まで受け取りに行く。

10. 練習について

- (1) 補助競技場（サブトラック）を開放するので、JOGや動きづくり等の練習、またメディシンボールを使用した練習は、こちらで行うようにする。
- (2) メイン競技場では、スピードを上げる練習等で使用するが、競技の妨げにならないう安全に注意してバックストレート付近で行うこと。
- (3) ハードルの練習は、主催者が用意したものを使用する。

レーン割と練習時間

予選用	ホーム側	一般高校女子	100mH	5レーン	3台まで	7:30～9:40	*試合用H
		中学女子	100mH	6・7・8レーン	3台まで	7:30～9:40	*試合用H
	バック側	一般高校男子	110mH	6レーン	3台まで	7:30～9:40	*練習用H
		中学男子	110mH	7・8レーン	3台まで	7:30～9:40	*練習用H
決勝用	1コーナー～	一般高校女子	400mH	3レーン	3台まで	11:00～12:40	*試合用H
	3コーナー手前	一般高校男子	400mH	4レーン	3台まで	11:00～12:50	*試合用H
	ホーム側	中学女子	100mH	5・6レーン	3台まで	13:30～14:50	*試合用H
		中学男子	110mH	7・8レーン	3台まで	13:30～14:50	*試合用H

※400mHは、110mH決勝が終われば、練習用に移動設置する（用器具係）

※中学ハードル決勝は、400mH決勝が終われば、練習用に移動設置する（用器具係）

- (4) 投てき練習は、補助競技場においてメディシンボールの使用のみとする。それ以外の場所（メイン競技場、メイン競技場入場門外広場付近、公園内）において、物を投げる練習は一切行わないこと。

11. 競技場の使用について

- (1) 競技場への入退場（選手受付、帰宅時）はメインスタンド南側ゲートのみとする。
- (2) 補助競技場へは、メイン競技場北側の門を使用していき来する。
門を出る際に、係員から「再入場許可証（リストバンド）」を受け取り手首に取り付けること。
再入場の際は、門の係員に「再入場許可証」を提示する。手首から外れている場合は無効となる。
- (3) 晴天時、中学生は芝生スタンドを各校の待機場所（ベンチ）として利用する。メインスタンドへはトイレの利用時のみとする。
- (4) 競技場内では、アップ、競技中、ダウンの時以外は必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。
- (5) 声を出しての応援は禁止。
- (6) 手指消毒用アルコールを場内に設置しているので、適宜、消毒を行うこと。
- (6) 選手・競技役員・補助員以外は競技場内に立ち入ることはできない。応援は全てスタンドで行うこと。
- (7) 各団体においてマナー（観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用など）の指導を徹底すること。
- (8) 更衣室はベンチ代わりに使用しない。更衣での滞在時間は5分以内に済ませ、すぐに出ること。
- (9) 貴重品の管理は各自で責任を持って行うこと。

- (10) ゴミは、各自の責任において家庭まで持ち帰ること。
- (11) 競技中に発生した傷病・疾病については、応急処置は主催者で行う。
それ以降の処置については、主催者は責任を負わない。
- (12) 大会結果は、明石市陸上競技協会ホームページ、アスリートランキングにて公開する。

12. その他

- (1) 大会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症に関する対応については別紙記載の通りとする。
- (2) 開門時刻は7：10（予定）です。市内の中学・高校はまとめて入場し、すぐ準備を行います。
- (3) 開門後、入場門内で選手受付・審判受付を行います。
「体調管理チェックシート」「大会出場承諾書（未成年者のみ）」「大会参加料」を提出してください。
- (4) 昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中撮影が許可されるのは下記の場合に限ります。
 - ① 大会運営本部より許可され、腕章（ゼッケン）をつけた報道カメラマン。
 - ② 大会出場学校の顧問・部員撮影をされている方に、上記に該当するか、確認をする場合があります。
- (5) 当日、午前7時の時点で、明石市に気象警報が発令されている場合は、その日の競技は中止です。
- (6) 荒天時でも、警報が発令されていなければ記録会は実施されます。